

5月22日（金）白浜町集会・2026年原水爆禁止国民平和大行進 日本政府は禁止条約の署名・批准を！！



5月22日（月）白浜町出発集会が始まります。白浜町原水協の榎本清司さんの進行です。最初に、元県議の高田由一さんです。「トランプさんのイラン攻撃で平和が不安定になって多くの命が奪われている状況が続いています。そして、この日本では石油が入って来なくなり商売にも不調をきたすようになっていきます。世界の平和や人の命にとっても、経済活動にとっても一つも特にならないのが今の大国による戦争だと思います。今、日本の政府は、こういう世界の状況を受けて、『抑止力』しかないんだと言い始めました。しかしこの『抑止力』というのは、力によって力を抑える事です。ノーベル平和賞を受賞した日本被団協の皆さんも、『抑止力』というものを突き詰めていけば、今後核兵器を持たざるを得ない。そこに繋がっていくから私たちは反対だと明確におっしゃっています。」と、地元代表の挨拶をします。

次に、大江康弘白浜町長メッセージです。「世界中で核兵器廃絶に向けた多くの国際会議が開催され具体的な取り組みがおこなわれる中、唯一の被爆国民である私たちは、次世代のために、核兵器廃絶と世界平和をいっそう訴えることが必要です。今後世界の人々を滅亡に導くような恐ろしい狂気が再び使用される事がないように平和への祈りを捧げるしだいです。」と山崎正和総務課長が代読します。続いて、長野壮一議長の激励メッセージです。「世界には核兵器が存在し、平和を取り巻く環境は決して楽観できるものでなく、戦争や紛争によって多くの暮らしや命が脅かされています。被爆国に生きる私たちは被爆者をつくらぬと言う強い信念のもと被爆の実相を風化させず核兵器のない世界を次の世代に引き継ぐ責任があります。」と広畑志穂町議が代読します。続いて、わかやま市民生協の野間名津巳さんの決意表明です。最後は、読み聞かせの会坂口志津子さんが白浜町集会アピールを読みあげます。集会の参加は18人でした。平和行進は町庁舎から商店街を通り、白良浜の横を歩いて最後、坂道を登り再び庁舎に戻ってきました。5月24日は、田辺市での平和行進です。 県事務局